

メディアセンター/ FM/AM レシーバー

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

警告 本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機の接続コードの色は、JEITA*コードカラーに準拠しています。

* JEITAは、電子情報技術産業協会の略称です。

販売店様へのお願い

本機の実取り付け後、この「取り付けと接続」は、必ずお客様へご返却ください。



目次

| | |
|--|----|
| 警告 安全のために | 2 |
| 「取り付けと接続」部品の確認 | 4 |
| 1 メディアセンター本体を取り付ける | 6 |
| 2 TVチューナーユニットを取り付ける | 10 |
| 3 TVチューナーユニットと接続する | 10 |
| 4 メディアセンター本体と接続する | 11 |
| 接続例 | 12 |
| 各コードの接続について | 13 |
| 5 車両側と接続する（接続図全体） | 14 |
| 6 TVアンテナを取り付ける | 16 |
| 7 コードを処理する | 20 |
| 8 車のエンジンをかけて、メディアセンターを起動させる | 20 |
| フロントパネルプレートのはずしかた | 21 |
| 故障かな?と思ったら | 22 |

XAV-77



警告

安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

**警告**

火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機取り付けには専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



禁止



本機はDC12Vマイナスアース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

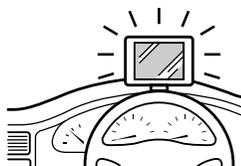
- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

前方の視界を妨げる場所に取り付けない

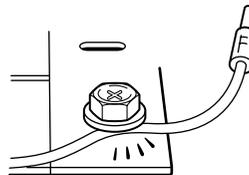
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



禁止



禁止

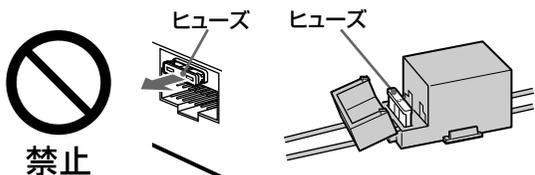


雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業すると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの原因となります。



パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。

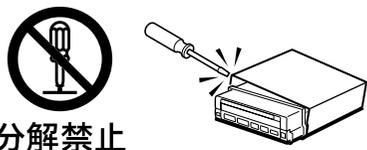


ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



下記の注意を守らないと
**けがをしたり自動車
に損害を与えたりする
ことがあります。**

安定した場所に取付ける

振動の多いところや、天井などに取付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



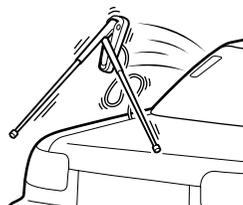
TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



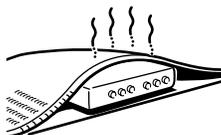
アンテナは確実に両面テープで固定する

車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



本機の通風口や放熱板をふさがない

フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

「取り付けと接続」部品の確認

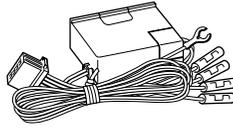
この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器は、付属品を除きすべて別売り品です。接続の際は、必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。別売り品の仕様については、お客様ご相談センター、またはお買い上げ店にご相談ください。

メディアセンター本体

① TVチューナーユニット



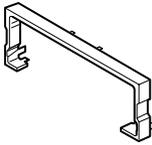
② 電源コード



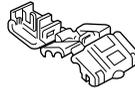
③ 接続コード (5.0m)



④ フロントパネルプレート*1



⑤ 圧着式コネクター



⑥ ⊕K5×6 (×4)



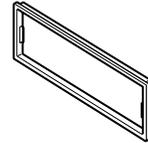
⑦ ⊕T5×6 (×4)



⑧ ワッシャー (∅6) (×2)



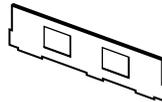
⑨ 日産車用プレート



⑩ 両面テープ (プレート用)



⑪ 型紙



⑫ 飾りフレーム*2

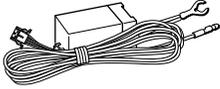


*1 本体に取り付けられた状態で出荷されています。

*2 ワッシャー⑧、飾りフレーム⑫は、取付キットGMD-236 (欧州車、マツダ車、フォード車用)をお使いになるときに使用します。ワッシャー⑧は本機側に入れ、取付パネとともに皿ネジ⑥で取り付けます。GMD-236に付属されている飾りフレームは、この場合には使いません。

TVチューナーユニット

⑬ 電源コード

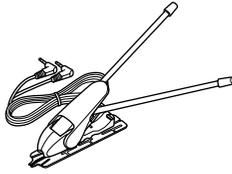


⑭ 面ファスナー(×2)



TVアンテナ

⑮ TVアンテナ(左1、右1)



⑯ 塗装保護シート(×2)



⑰ クリーナー液



⑱ 不織布



⑲ コードガイドレール(×4)



⑳ コードクランパー(×6)



㉑ 六角レンチ



1

メディアセンター本体を取り付ける

取り付け位置

前方視界を妨げることがないようにセンターコンソールやインダッシュの高い位置に取り付けてください。2DINサイズの場合は、必ず上段に取り付けてください。

取り付け角度

水平から25°以内で取り付けてください。25°以上傾けて取り付けるとモニターの設定/収納ができなくなるなどの原因となります。

●●● ご注意

ユニット同士やコード類は離してください。
-メディアセンター本体とTVチューナーユニット
-メディアセンター本体とTVチューナーユニット接続コード
近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。

本体を取り付ける前に

本機は、正しい位置に確実に取り付けてください。

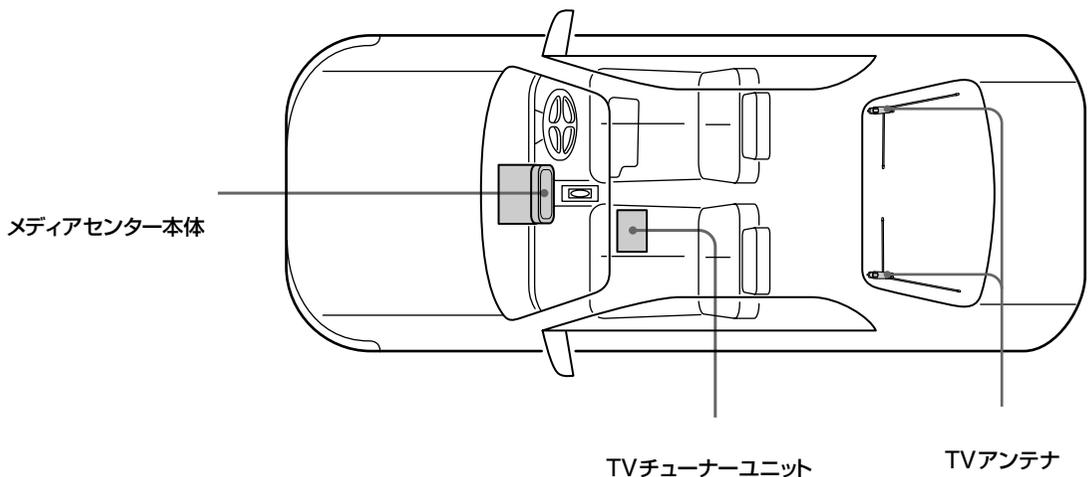
取り付ける前に、必ず以下の事項を確認してください。

- モニターをセットしたときに、エアコンの吹き出し口の近くのときは吹き出し口を閉じてください。
- モニターをセットしたときに、ハザードランプスイッチなどがモニターの後ろに隠れずに、すぐに押せることを確認してください。
- 本機（モニター）は極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。（キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。）また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。

1 イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

2 仮置きして（下図参照）、ケーブルの長さやモニターの位置などを確認する

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各ユニットを配置してください。



センターコンソールやインダッシュに取り付ける 国産車に取り付ける場合

型紙⑩の使いかた

型紙⑩は、本機のパネルの形状に合わせてあります。車両側のクラスターパネルを加工する際、確認用に使用していただくとう便利です。中心の2つの穴に指をかけた、「UPPER」側を上にします。

トヨタ車や日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、その後本機を取り付けられます。ただし、車種（一部のトヨタ車、スバル車など）によっては、本機のモニターローディング機構の動作寸法より小さい場合があります。

マツダ車の場合、別売り取り付けキットGMD-236をご使用することをおすすめします。

モニターをスムーズに出し入れさせるために、いかなる車種でもクラスターパネルが下記の寸法通りになっているか必ず確認してください。

寸法通りになっていない場合、下記寸法図を参照して取り付ける車両のクラスターパネルを加工してください。（詳しくはお買い上げ店にご相談ください。）

外国車/輸入車に取り付ける場合

欧州車またはフォード車の場合、別売り取り付けキットGMD-236をご使用することをおすすめします。

モニターをスムーズに出し入れさせるために、いかなる車種でもクラスターパネルが下記の寸法通りになっているか必ず確認してください。

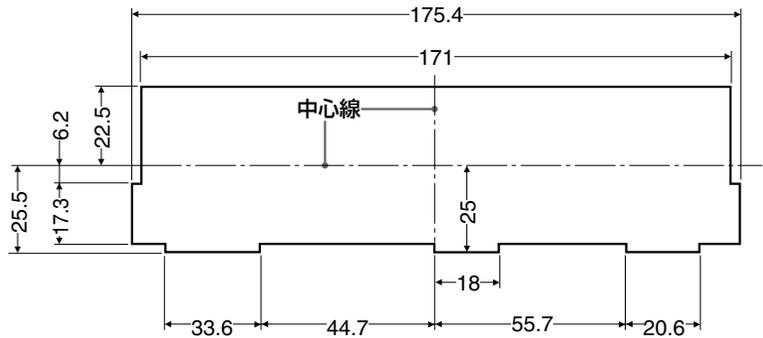
寸法通りになっていない場合、下記寸法図を参照して取り付ける車両のクラスターパネルを加工してください。（詳しくはお買い上げ店にご相談ください。）

●●● ご注意

右図のイラスト寸法と合わないまま本機を取り付けると、モニターがスムーズに立ち上がらないなどの不具合が出る場合があります。

そのときは、どの箇所が寸法図通りになっていないのかをもう1度確認して、クラスターパネルを加工してください。車種によっては、別売りの取り付けキットをご使用ください。（詳しくはお買い上げ店にご相談ください。）

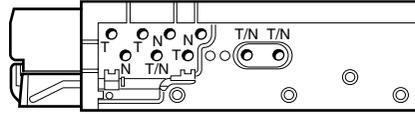
クラスターパネル寸法図



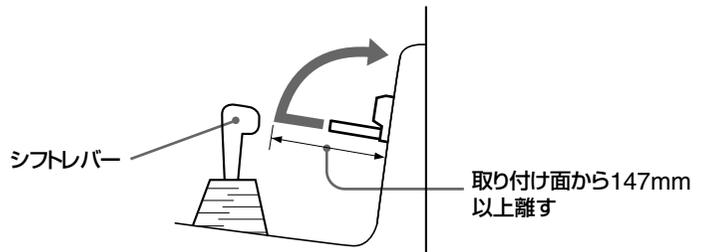
(単位: mm)

取り付け時のご注意

- 取り付けは慎重に行ってください。本機を落下させたり、ぶつかけたり、無理な取り付けを行いますとシャーシが歪んでモニターのローディング機構が動作しなくなり、故障の原因となります。
- 純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されている「T」(トヨタ車/三菱車用)、「N」(日産車用)、「T/N」(トヨタ車/三菱車/日産車共用) マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ⑥または⑦で取り付けてください。



- 欧州車、マツダ車、フォード車用取り付けキットGMD-236を使用する場合は、付属のネジ⑥とワッシャー⑧で金具を取り付けてください。
- モニターのセット/収納のためには、シフトレバーを一番前にした状態からメディアセンターの取り付け面まで147mm以上の間隔が必要です。



- シフトレバーの位置によっては、モニター部が当たる場合があります。シフトレバーを一番前にしたときに運転の操作の妨げにならないことを確認してください。
- 本機と他のカーオーディオ機器(1DINサイズ)を重ねて取り付ける場合は、本機を上段に取り付けます。

本体を取り付ける

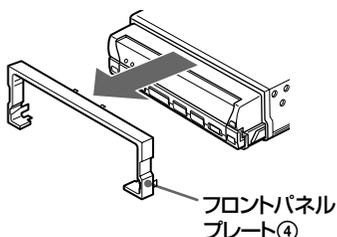
1 純正カーオーディオを取り外す

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。(取り外し方が分からない場合は、この「取り付けと接続」巻末に記載されているソニーFAXインフォメーションサービスなどをご利用ください。)

2 本機を仮置きする

- 本機の後部が車両側にあたる時や、モニターをセットしたときにモニターの上背部がセンターコンソールにあたりそうなときは、取り付け位置を移動させてください。本機は14mm前方へ移動させて取り付けることができます。前方へ取り付けるときは、フロントパネルプレート④を取りはずしてください。
- 本機を14mm前方へ移動させて他のカーオーディオ(1DINサイズ)と重ねて取り付ける場合、車種によってはマスターユニットの操作が困難になることがあります。操作しやすいかどうか、必ず取り付けの前に確認してください。

フロントパネルプレートを取りはずす場合(21ページ)



2

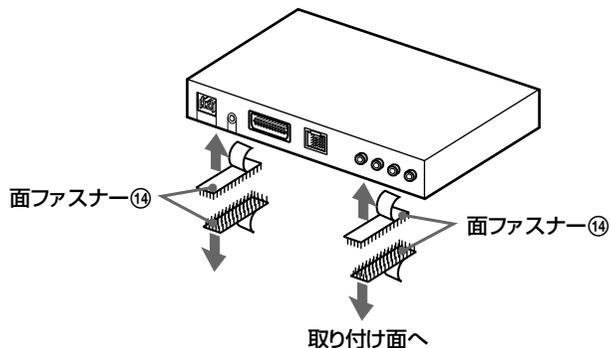
TVチューナーユニットを取り付ける

●●●で注意

- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - 高温になるところ
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
- 面ファスナーは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

ユニット同士やコード類は離してください。
— メディアセンター本体とTVチューナーユニット
— メディアセンター本体とTVチューナーユニット接続ケーブル
近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。

面ファスナー⑭でカーペットなどに取り付ける



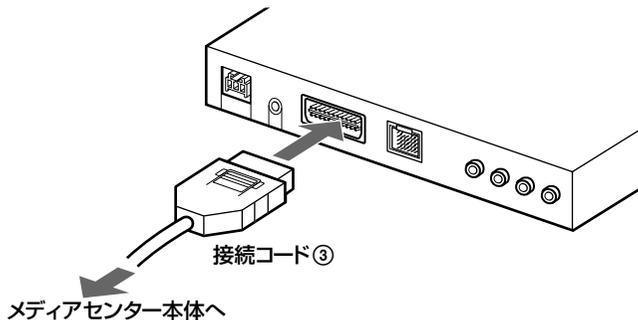
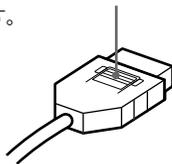
3

TVチューナーユニットと接続する

「[5]車両側と接続する(接続図全体)」(14～15ページ)もご覧ください。

コネクタの着脱のしかた

カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながら引っ張ります。



③はカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

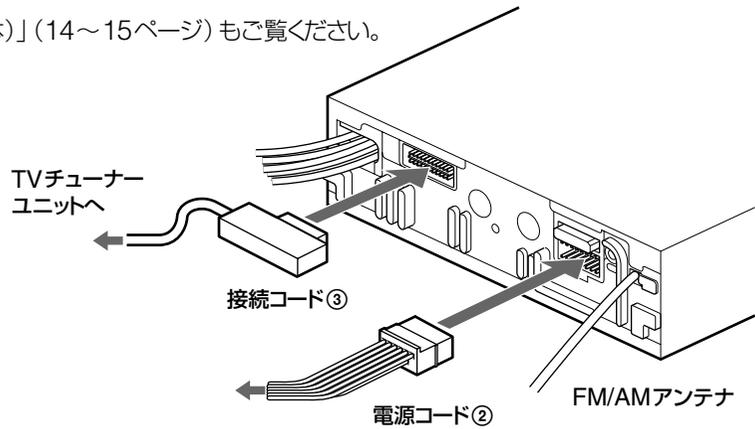
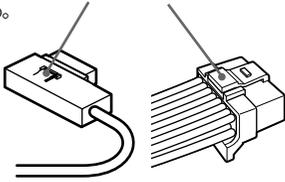
4

メディアセンター本体と接続する

「5 車両側と接続する (接続図全体)」(14～15ページ) もご覧ください。

コネクターの着脱のしかた

カチッと音がするまで確実に差し込み、はずすときはこの部分を押しながらかき上げる。

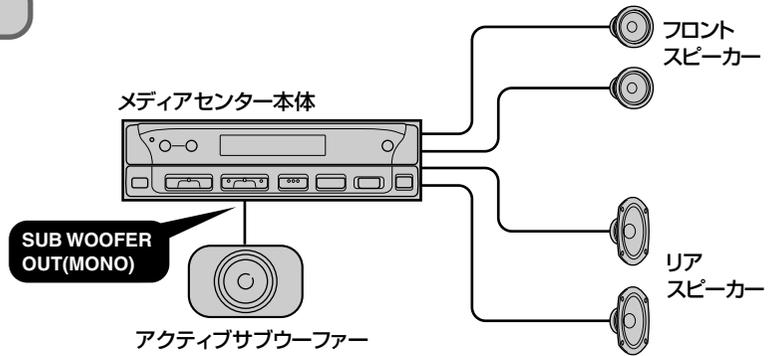


②、③はカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

接続例

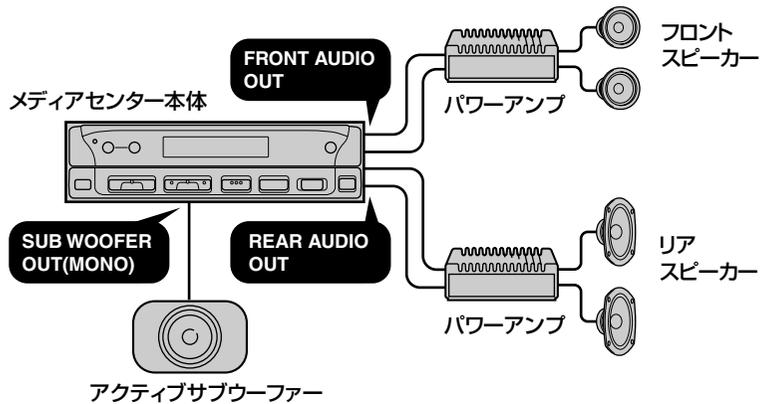
詳しくは、「[5] 車両側と接続する (接続図全体)」(14~15ページ)をご覧ください。
 接続の際は、必ず接続先の取扱説明書もあわせてご覧ください。

スピーカーとの接続

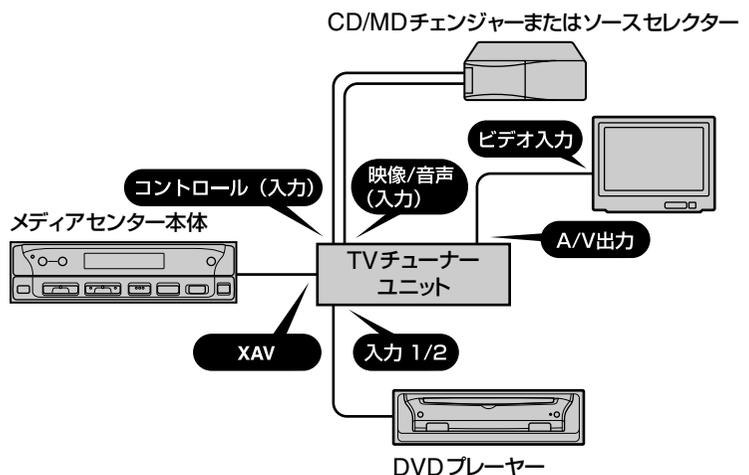


●●● ご注意

- アンプを接続する前に、必ずアースコードを接続してください。
- 本機のスピーカーコードにアクティブスピーカー (アンプ内蔵スピーカー) を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。



別売り機器との接続



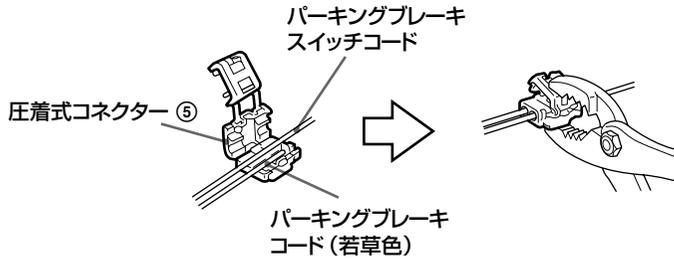
各コードの接続について

詳しくは、「**[5]** 車両側と接続する (接続図全体)」(14～15ページ)をご覧ください。

圧着式コネクターの使いかた

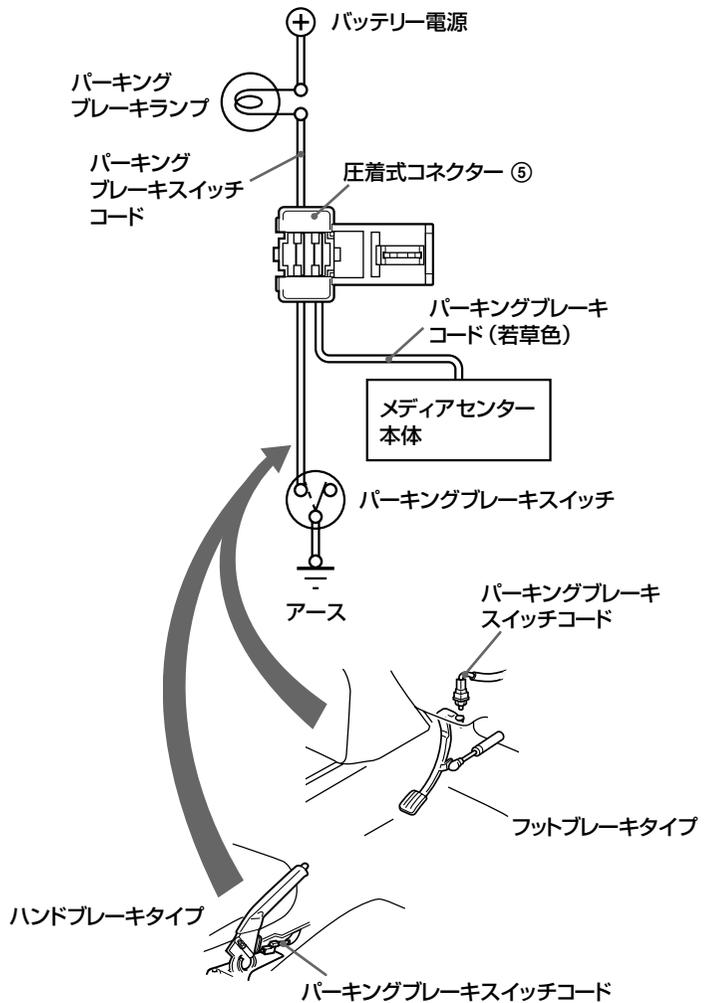
●●●で注意

- 電源コードの接続は、必ずすべての配線を済ませてから行ってください。
- パーキングブレーキコードが非常に細い場合は、圧着式コネクターを使わず、直接パーキングブレーキコードを接続してください。
- 車両側の各コードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。



パーキングブレーキコードの位置について

パーキングブレーキコード (若草色) は必ずパーキングブレーキスイッチコードに接続してください。パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。



必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

前ページ、「各コードの接続について」もご覧ください。

この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器は、付属品を除きすべて別売品です。接続の際は、必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

別売品の仕様については、お客様ご相談センター、またはお買い上げ店にご相談ください。

ヒューズを交換するときは、配線などをチェックして、原因を確認し適切な処理を行ってから、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。

次のコードは必ず接続してください。

接続しないと、故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

- 若草色コードを車両側のパーキングブレーキスイッチコードに接続する。
- 黄色コードを車両側のバッテリー電源へ接続する。
- 赤コードを車両側のアクセサリ電源へ接続する。
- 黒コードを車体の金属部分へ接続する。

* 黄色と赤色コードを逆につなぐと、メモリーが消えるのでご注意ください。

次のご注意を守ってください。

守らないと故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

- 接続しないコードは金属部分を露出したままにせず絶縁して取り付けてください。絶縁しないと故障の原因となります。
- FM/AMアンテナコード、バスケーブル、RCAピンコード、および電源コードの各コードは、できるだけ離して配置してください。ノイズの原因となります。
- バスケーブルやコード類を外すときは、コネクタ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが抜けてしまうことがあります。
- 車両側から本機に配線する場合は、配線キットを必ずご使用ください。配線キットをご使用にならないと故障の原因となる場合があります。当社では車種別配線キットを用意しておりますので、お買い上げ店にご相談ください。



ご注意

TVアンテナはFM/AMアンテナから離して取り付けてください。

FM/AMアンテナ接続についてのご注意

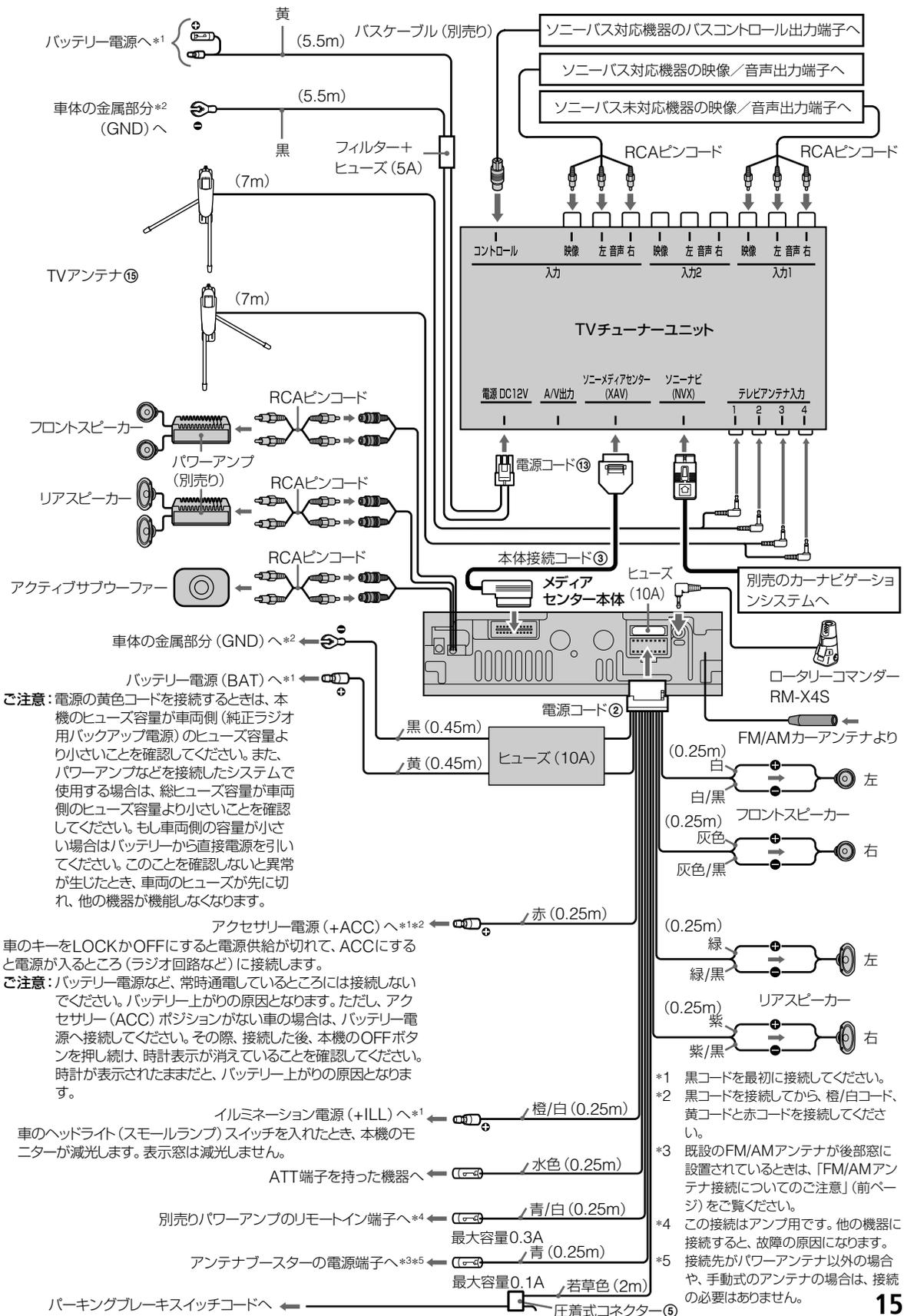
- アンテナコントロールコード(青色)には、TVチューナーユニットの電源を入れたとき12ボルトのコントロール用電源を供給します。
- ご使用の車がFM/AMアンテナを内蔵している場合は、アンテナコントロールコード(青色)またはアクセサリ電源コード(赤色)のどちらかを、アンテナブスターの電源端子に接続してください。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。
- リレーボックスのないパワーアンテナを本機で使用することはできません。

メモリー保持についてのご注意

電源入力コード(黄色)を接続しておく、イグニッションキーをOFFにした場合も、メモリー回路に常に電源が供給されます。

スピーカー接続についてのご注意

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- スピーカーは、インピーダンス4~8Ωのものを使用してください。定格外のスピーカーを接続すると、故障の原因となります。
- 十分な許容入力を持つスピーカーをお使いください。
- スピーカー端子を車のシャーシに接続しないでください。
- 本機のアース用コード(黒色)をスピーカーの⊖端子に接続しないでください。
- 複数のスピーカーを並列に接続しようとしてはいけません。
- 本機のスピーカーコードにアクティブスピーカー(アンプ内蔵スピーカー)を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。
- 既設の純正スピーカーコードを使うときは、左右のスピーカーコードの⊖端子が共通になっているものは使わないでください。
- スピーカーコードどうしを接続しないでください。



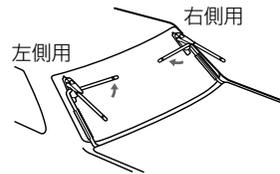
ご注意: 電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側 (純正ラジオ用バックアップ電源) のヒューズ容量より小さいことを確認してください。また、パワーアンプなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量より小さいことを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合はバッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じたとき、車両のヒューズが先に切れ、他の機器が機能しなくなります。

- *1 黒コードを最初に接続してください。
- *2 黒コードを接続してから、橙/白コード、黄コードと赤コードを接続してください。
- *3 既設のFM/AMアンテナが後部窓に設置されているときは、「FM/AMアンテナ接続についてのご注意」(前ページ)をご覧ください。
- *4 この接続はアンプ用です。他の機器に接続すると、故障の原因になります。
- *5 接続先がパワーアンテナ以外の場合や、手動式のアンテナの場合は、接続の必要はありません。

付属のTVアンテナ⑩は車外取り付け専用です。

TVアンテナの取り付け位置について

- なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラス面のカーブが大きいとはがれるおそれがあります。
- 必ずリアウィンドウに取り付けてください。
- 車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離してください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受ける場合があります。
- TVアンテナの左右を確認して取り付けてください。

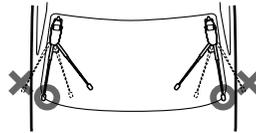


●●● ご注意

TVアンテナを正しく取り付けても、次のような場所では、映りにくくなります。

1. ビルとビルの間
2. 高圧線、送電線付近
3. 飛行機が近くを飛んでいる場合
4. 電車が近くを走行している場合
5. 山中や放送局から遠い場所
6. トンネル内
7. ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近

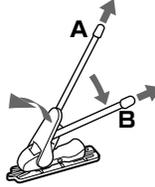
- TVアンテナを伸ばしたとき、TVアンテナが車体からはみ出す場合は、六角レンチ⑪で台座の前後2本のネジをゆるめて、TVアンテナが車体からはみ出さないように、角度を調節してください。



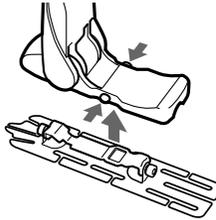
- 塗装面に取り付けるときは塗装保護シート⑫を取り付け面に貼り付けてから、TVアンテナの台座を取り付けてください。

TVアンテナの使いかた

TVアンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっぱい
にのばし、エレメントBを内側へ倒します。(取り付け場所によってはTVア
ンテナの性能が劣化する場合があります。)



TVアンテナを台座から取り外すには
両サイドのボタンを押して取り外します。



TVアンテナを取り外す場合

TVアンテナは次のようなときに取り外
します。

- TVアンテナを取り付けるとき
- 取り付け後、盗難やいたずらを防止
するために車内に収納するとき

取り付けるときは、カチッと音がするまで差し込んでください。

取り付けるときは

雨や霧の中では取り付け作業を行わない

湿気の多いときは、取り付け面を十分
に乾燥させてください。取り付け
面に水気があると接着力が低下し
てはがれる恐れがあります。



取り付け面の温度が低いときは、ドライヤーなどで温めて
から取り付け

車内ヒーターやリアウインドウの熱線
なども効果があります。



お使いになるときは

取り付けしてから24時間以内は次のことを守る

湿気の多いときは、取り付け面を十分
に乾燥させてください。

- 水をかけない
- 雨にあてない
- アンテナに無理な力を加えない



自動洗車機は使用しない



走行前に取り付け状態を点検する

- ネジがゆるんでいないか
- 取付金具がはがれていないか



アンテナ本体や取付金具、コード
類の変形や破損を防ぐため、必ず
水で拭く。薬品類では拭かない



TVアンテナを取り付ける

取り付けるときは、TVアンテナ⑮の台座を取り外し(17ページ)、台座を正しく取り付けてからTVアンテナを取り付けます。

1 TVアンテナ⑮の台座を取り外す

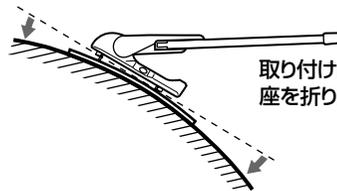
2 不織布⑱にクリーナー液⑰を染み込ませて貼り付け面に付着している油膜やワックス、ほこりなどの汚れを拭きとる

クリーナー液が乾いたら水で洗い流して乾いた布で乾拭きをしてください。



3 TVアンテナ⑮の台座を貼り付け面に合わせて折り曲げる

台座と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。



取り付け面の曲面に合わせて、台座を折り曲げます。

4 台座のはくり紙をはがして貼り付け、指で押し付け密着させる

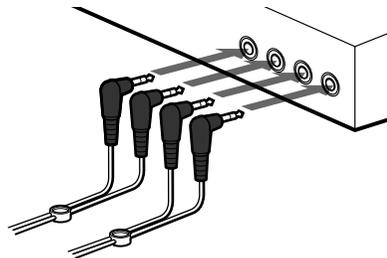
接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。



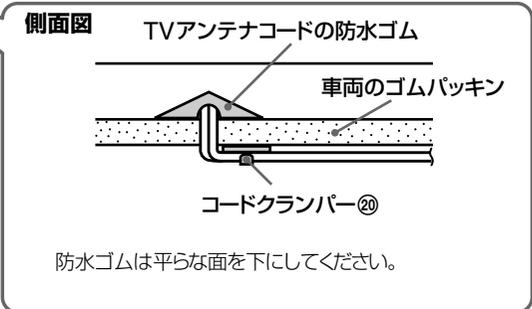
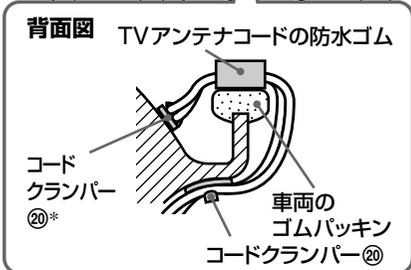
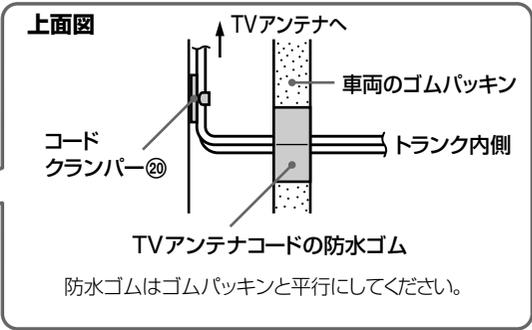
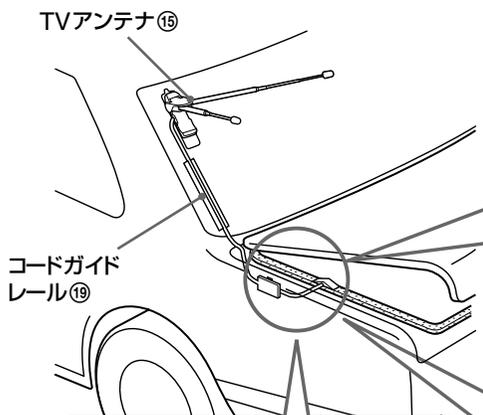
5 TVアンテナを台座に取り付ける

TVアンテナコードを接続する

TVアンテナコードを配線し、接続する

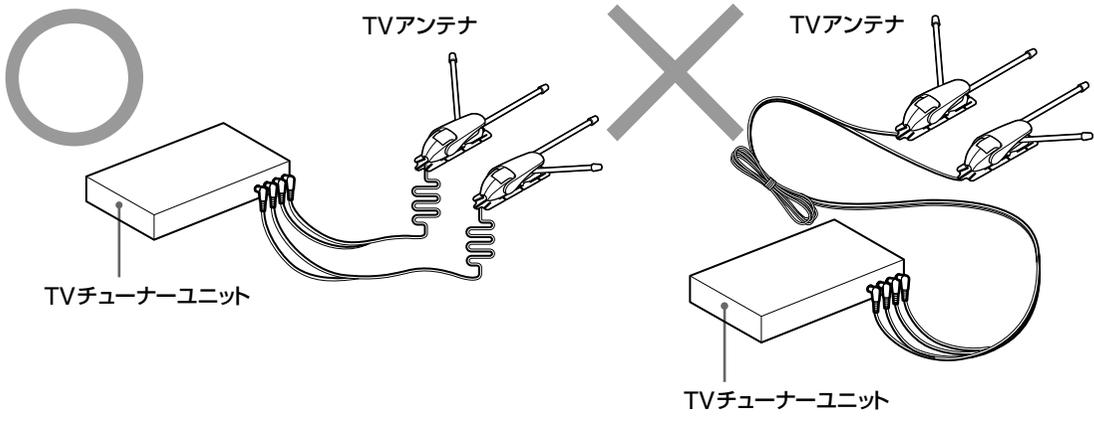


TVアンテナコードをまとめる



* このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内への水漏れの原因となります。

TVアンテナコードを束ねてTVチューナーユニットの近くに設置すると、ノイズが発生することがあります。コードは束ねないようにまとめ、TVチューナーユニットからできるだけ離れた所に設置してください。

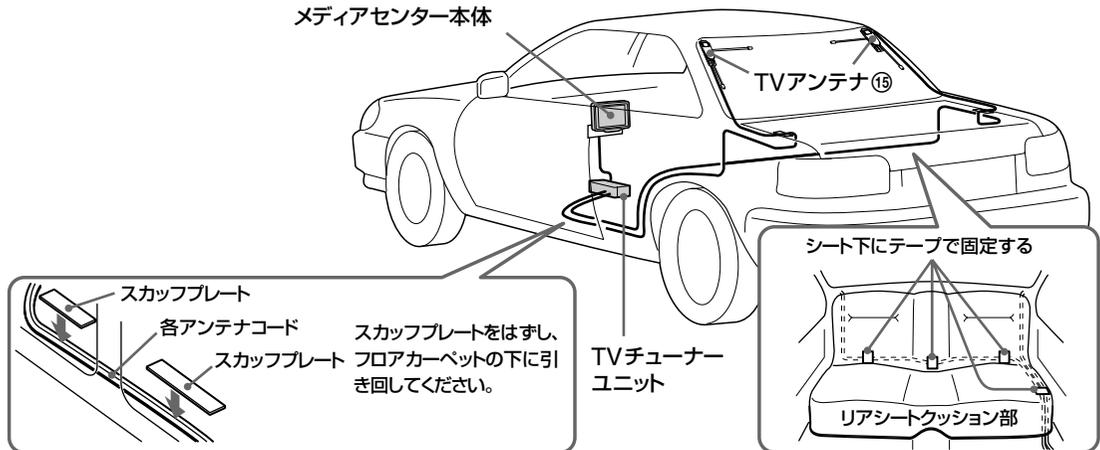


7

コードを処理する

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の妨げにならないようにまとめてください。

また、TVチューナーユニット接続ケーブルは、メディアセンター本体からできるだけ離してください。近くに設置すると、テレビ画面にノイズが発生することがあります。



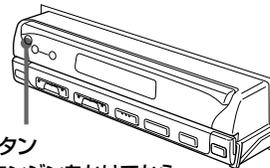
8

車のエンジンをかけて、メディアセンターを起動させる

1 車のエンジンをかける

2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウinkerなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する

3 メディアセンター本体のリセットボタンをつまようじの先などで押す



リセットボタン
必ず車のエンジンをかけてから、
つまようじの先などで押してください。

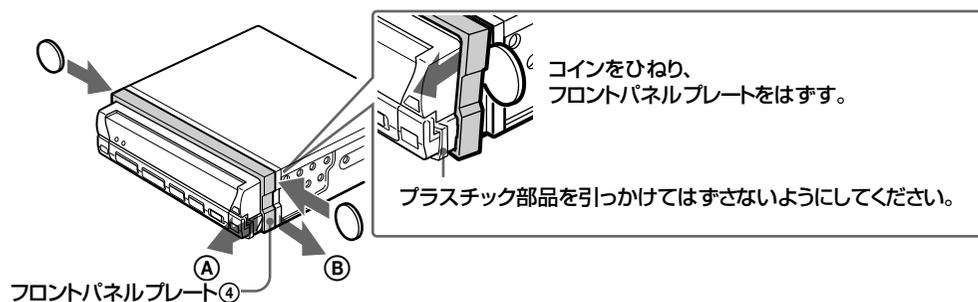
4 本機が正しく動作するか確認する

●●● ご注意

針のようなもので強く押すと故障の原因となります。

フロントパネルプレートのはずしかた

フロントパネルプレート④を本体から取りはずす場合は、以下の手順に従ってください。



●●● ご注意

本体下側に取り付けてあるプラスチック部品を、フロントパネルプレートに引っかけて一緒にはずさないようにご注意ください。

- 1** フロントパネルプレート④の下側を手前(A方向)に引っ張り、フロントパネルプレートと本体との間にすき間をつくる
- 2** そのすき間にコインなどをかませ、ひねってフロントパネルプレートをはずす
本体を傷つけないようにご注意ください。
左右順番にはずしてください。
- 3** フロントパネルプレートの下側を外側(B方向)に広げながら、プレートを本体から取りはずす

故障かな?と思ったら

| 症状 | 原因および処置 |
|----------------------------------|---|
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> • バッテリー電源 (⊕BAT)、アクセサリ電源 (⊕ACC)、アース (GND) が正しく接続されていない。→接続を確認してください。 • 各コネクタが確実に差し込まれていない。→接続を確認してください。 • モニターの電源がOFFになっている。→モニターのSOURCE ボタンを押してください。(本体の取扱説明書を参照してください。) • TVチューナーユニット接続ケーブルは、メディアセンター本体から、TVチューナーユニットのソニーメディアセンター端子へ接続します。 • ヒューズが切れている。→メディアセンター、電源コード、車両側のヒューズを確認してください。(15ページ参照) |
| テレビが映らない | <ul style="list-style-type: none"> • TVアンテナが接続されていない。→TVアンテナを接続してください。(16ページ参照) • TVチューナーユニットとメディアセンター間のコードが接続されていない。→接続を確認してください。 • 若草色コードと車両側のパーキングブレーキスイッチコードが接続されていない。→接続を確認してください。 |
| モニターがスムーズに立ち上がらない | <ul style="list-style-type: none"> • 車両のクラスターパネル(本機取り付け部)が小さい。→クラスターパネル(本機取り付け部)の寸法を確認してください。(7~9ページ参照) |
| 画面がながれる | <ul style="list-style-type: none"> • 各コネクタが確実に差し込まれていない。→接続を確認してください。 |
| 色がつかない | <ul style="list-style-type: none"> • 各コネクタが確実に差し込まれていない。→接続を確認してください。 |
| フロントスピーカーとリアスピーカーの音が逆に出る | <ul style="list-style-type: none"> • スピーカーコードが逆に接続されている。 |
| ラジオが受信できない 雑音しか出ない | <ul style="list-style-type: none"> • リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合、パワーアンテナコントロールリード(青色)または、アクセサリ電源コード(赤色)を、純正アンテナプースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。 • オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールリード(青色)の接続を確認してください。 • アース用コード(黒色)が正しく接続されていない。 • カーアンテナとの接続を確認してください。 |
| ロータリーコマンダー (RM-X4S 別売り) がきかない | <ul style="list-style-type: none"> • ロータリーコマンダーが接続されていない。確実に差し込まれていない。→接続を確認してください。 |

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内 (FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料

- ①インデックスの入手/03-3552-7209 →車種メーカー別のBOX番号を受信
- ②資料請求/03-3552-7488 →アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

24時間
お手元のFAXで
資料が取り出せます

- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は **毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00**となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

お客様ご相談センター

- ナビダイヤル ……………  **0570-00-3311**

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

- 携帯電話・PHSでのご利用は … **03-5448-3311**

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

- FAX …………… **0466-31-2595**

受付時間 : 月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は再生紙を使用しています。